

ピーカンキッズ ～あそぼーかい～

5月のあそぼーかいは、保護者の方からのリクエストもあり、約5年ぶりとなる土曜日に行われました。土曜日の開催は久しぶりでしたが、当日会場のドアを開けると、たくさんのお子さん、保護者の方々がいらして下さいました。また、平日開催では見られないお父さんたちの姿もたくさんあり、会場は活気に溢れていました。



5月のテーマは例年同様、「子供の日」。いつものようにご挨拶に出てきたらお君とらこちゃんは手にこいのぼりを持っています。司会とらお君とらこちゃん、そこに子供たちも

加わって子供の日について知っていることをお話しました。アメリカで暮らす子供たちですが、日本の文化をよく知っていることに驚かされました。

とらお君とらこちゃんコーナーの次は、体遊びです。今月は子供たちに大人気の、NHK番組『いないいないばあ!』の人気曲『わーお!』にあわせて踊りました。ジャンプしたり、ハイハイしながらだんご虫になったりと体をたくさん動かして会場は熱気に包まれました。

次はパネルシアター「こいのぼり」。子供の日に欠かせないこいのぼりは、中国のある伝説に由来していると言われてい



ます。その伝説を簡潔にまとめましたが、それでもまだ子供たちには少し難しいところがありました。大きなパネルにナマズや魚が

登場したり、最後に魚が竜になるシーンは子供たちの興味を引いたようで、最後まで一生懸命聞いてくれました。その後、子供たちはお父さんお母さんに手伝ってもらいながら、折り紙とストローを使って思い思いにこいのぼりを作りました。最後に完成したこいのぼりを持って、みんなで『こいのぼり』の歌を歌いました。



恒例のお誕生日会では、1歳になるお子さんのお誕生日をみんなでお祝いしました。あそぼーかいは、毎月お誕生月のお子さんのお祝いをしています。手作りメダルとお誕生日ステッカーに、お歌のプレゼントを用意していますので、みなさんもお誕生月に遊びに来てください。

今月は土曜日開催ということで、現地のスクールに通っていたり、遠方にお住まいで平日は参加が難しいお子さんがたくさん参加してくれました。お仕事がお休みのお父さんのご参加も多く、大盛況に終わることができました。また、あそぼーかい終了後の交流会も、和気あいあいと楽しい時間になりました。今後もご希望があれば、土曜日に開催したいと考えています。その際はぜひご家族で遊びにいらしてください。

今後の開催予定

7、8月はあそぼーかいも夏休みでお休みとなります。9月の予定は、8月下旬頃にヒューストン日本商工会Facebookページ、ヒューストンなびにてお知らせ予定です。また、やむをえず中止や予定変更になる場合も同様です。

ボランティア募集

あそぼーかいは一緒に活動するボランティアメンバーを募集中です。資格や経験は不要、お子さん連れも大歓迎です。ご興味のおありの方はぜひご連絡ください。お待ちしております。
[問合せ先] pecan.asobo@gmail.com



三水会クラブ

ガラスの中に描かれたサンドアートをご覧になったことはありますか？ガラスサンドアートは、透明なガラスに色とりどりの砂を層にして詰め、その美しい組み合わせで絵やデザインを作るアートです。その光景は、まるで砂の万華鏡のように見る人を魅了します。

このアートの始まりは、ネイティブアメリカンが異国人に土産物として売っていたことと言われています。19世紀後期には、アメリカでアンドリュー・クレメンツという聾啞のサンドアーティストが活躍しました。彼の手によって、この美しいアートは広く知られるようになったのです。20世紀後半にはヨルダンなど中東地域でお土産として人気になり、日本では21世紀以降に独自のスタイルが生まれました。砂のアートにデコレーションを施し、インテリアとしても楽しめるスタイルに発展したのです。このアートは、日本で「ガラスサンドアート」と呼ばれています。



今回のワークショップは、夏本番のヒューストンにぴったりな海の風景画を皆さんと一緒に制作しました。初めての10名以上のグループレッスンでしたので、始まる前は緊張していましたが、以前ワークショップに参加して下さった

方々も多くお越しただけたので、リラックスして楽しんで臨むことができました。

ガラスサンドアートを体験する方には、海のデザインが難しそうに見えていたかもしれませんが、コツさえ掴めば子供も大人も簡単に作れるのがガラスサンドアートの魅力。制作が始まると、みなさん慎重に真剣にガラスに砂を入れ始めました。



海の風景画は、波立つ海、空、かもめ、雲の順番でガラスの下から積み上げていきます。同じ色の砂・同じステップで作っても、完成した作品はそれぞれの個性が光る海のアートになりました。

作品が完成した後は皆さんの笑顔が輝いていて、ガラスサンドアートの面白さを伝えられた事に安堵しました。たくさんの方々にご参加いただき、「楽しかった」とのお声をいただけたことがとても嬉しく感謝の気持ちでいっぱいです。

協力いただいたヒューストン日本商工会議所の皆さま、お手伝いいただいたボランティアの方々、本当にありがとうございました。

日本のガラスサンドアートがアメリカで身近なアートとなるよう、そしてヒューストンから全米へ広がるように頑張ります。どうぞ応援よろしくお願いたします。



マクファーランド ふみ
ガラスサンドアーティスト&カラーサンドインストラクター

2019年にアメリカに移住後、日本の協会よりガラスサンドアートをオンラインで学ぶ。砂のアートの奥深さに魅せられ、コロナを機にオンラインでのワークショップをスタート。子どもから大人までみんなが真剣にアートに取り組み創造し楽しんでいる姿を目にして、とてもやり甲斐を感じ、このアートスタイルをアメリカで広げることを決意。動画コンテンツ、ワークショップ、DIYキットを通して多くの人にガラスサンドアートの楽しさを伝えている。